

# 漁況予報 いわし

## 第177号

2013年5～6月漁期  
(2013年5月13日発行)

※1 平年：過去5年平均  
※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### ＝ 概況 ＝

#### 【マイワシ】

主要定置網における3月のマイワシ総漁獲量は2トンで、前年(111トン)を大きく下回り、平年※1(49トン)と比べても大きく下回りました。4月の漁獲量(速報値)は6トンで、前年(71トン)および平年(107トン)を大きく下回りました。

魚体は、被鱗体長※2(以下同)14～16cmの小羽～中羽マイワシが主体でした。これは2012年生まれの1歳魚と推定されます。

まき網は、東京湾側で若干の水揚げがありましたが、佐島地区では殆ど漁獲がありませんでした。

今後はひきつづき1歳魚が漁獲主体となり、6月頃からは今年生まれの0歳魚もヒラゴ～小羽マイワシとして若干漁獲されると考えられます。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網における3月のカタクチイワシ総漁獲量は27トンで、前年(535トン)及び平年(387トン)を大きく下回りました。つづく4月の漁獲量(速報値)も125トンと前年(287トン)及び平年(316トン)を大きく下回りました。

4月下旬から12cm以上の大型成魚主体の来遊となり、これは2011年生まれの2歳魚主体と推定されます。

東京湾側のまき網は餌イワシとしての漁獲が継続しましたが、佐島地区では漁獲がなく3・4月とも前年および平年を大きく下回りました。

今後はひきつづき、大型成魚が漁獲主体になると考えられます。

#### 【シラス】

相模湾のシラス漁は今年も3月11日に解禁となりましたが、解禁直後は越冬カタクチシラス(カタクチイワシ仔魚)主体で200kgの漁獲があった地区もありましたが、その後は前年同期の皆無に比べれば良かったものの、暫くは不安定な漁場形成が継続しました。4月下旬になりようやく相模湾東側域でまとまった漁になる船も出てきましたが、来遊総量は少ないようで良い漁場は限定的のようです。また、鎌倉湾内や相模湾西側ではカタクチイワシ成魚が漁場に大量に来遊したことも影響したようで、東高西低の様相でした。このため、4月のシラス漁獲量(標本船データより推定)は前年比1.4倍、平年比0.6倍となりました。

3・4月の漁獲物はカタクチシラス主体にウルメシラス(ウルメイワシ仔魚)混じりで、マシラス(マイワシ仔魚)は、前年同様混獲率が低い模様です。

### ＝ 予報 ＝

#### 【マイワシ】

今漁期は、2012年生まれの小羽～中羽マイワシ(14～16cm)が漁獲主体となり、あわせて2013年生まれのヒラゴ～小羽マイワシ(14cm以下)も漁獲されるでしょう。

今漁期の漁獲量は、3～4月の県内主要定置網の漁獲量から、前年並みの90トンと予測されます。

#### 【カタクチイワシ】

今漁期は、2011年生まれの大型成魚(12cm以上)主体に後半には小型成魚も混じるようになるでしょう。

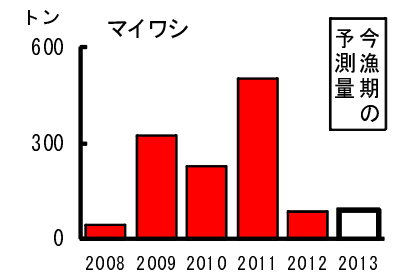
今漁期の漁獲量は、3～4月の県内主要定置網の漁獲量から、前年を下回る610トンと予測されます。

#### 【シラス】

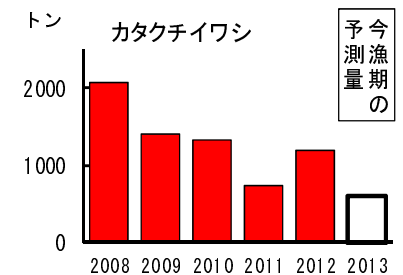
今漁期は、4月以降に生まれたカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、前年並の85トンと予測されますが、ひきつづきカタクチイワシ成魚が漁場に滞留し続けた場合は、予測値をさらに下回ることも考えられます。

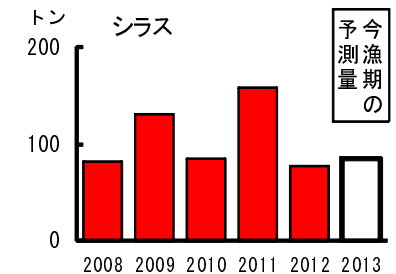
過去5年の5・6月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



神奈川県水産技術センター企画資源部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2312